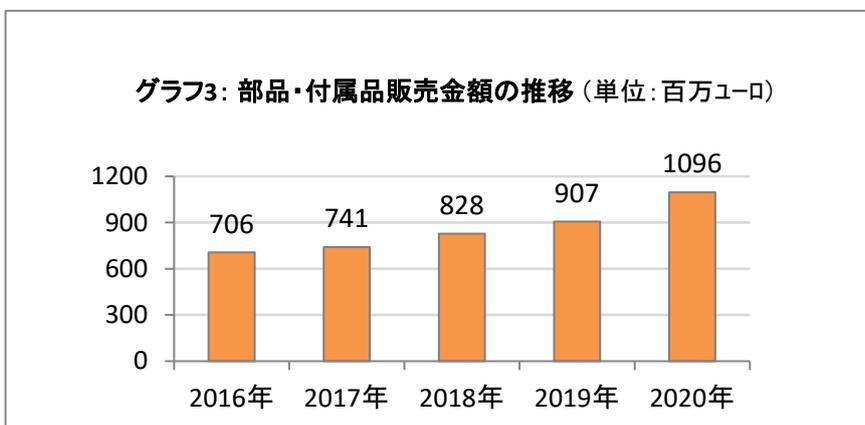
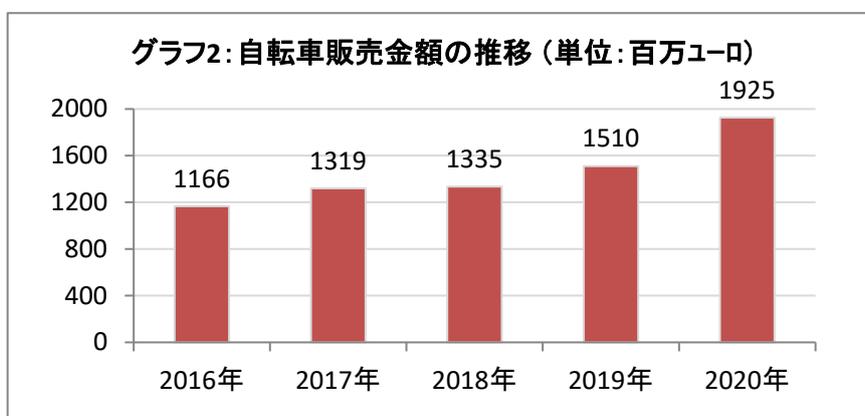
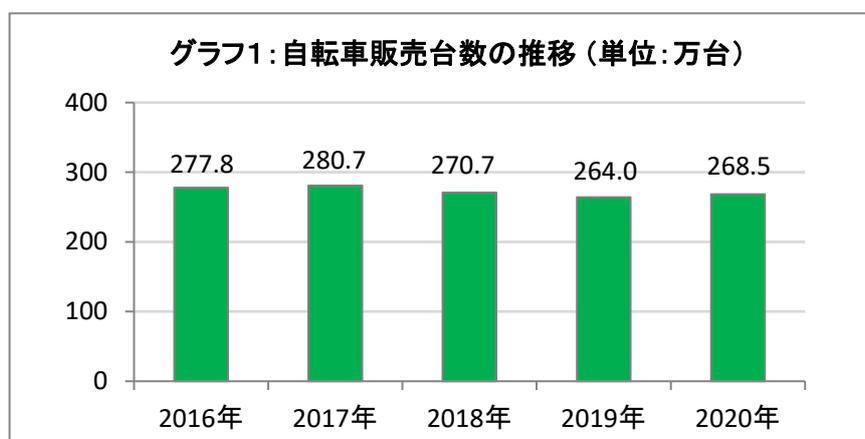


フランス自転車市況－2020

1. 販売

フランスのスポーツ・サイクル用品の業界団体「Union Sport & Cycle」によると、2020年自転車販売台数は前年比1.7%増の268.5万台に留まり、2012年に300万台を割り込んで以来低迷している。一方、自転車販売金額は前年比27.5%増の1,925百万ユーロ(2,503億円「換算レート1ユーロ=130円」以下同じ)となり、3割弱の伸びをみせた。なお、部品・付属品の販売金額は前年比20.8%増の1,096百万ユーロ(1,425億円)となった。



Union Sport & Cycle は、コロナ危機の影響を強く受けたスポーツ&レジャー部門の中でもサイクリングは例外で、2020 年は特別な年となったと強調、コロナ危機当初の数か月は工場の閉鎖、サプライチェーンの減退など業界関係者にとっては混沌としたものであったが、最初のロックダウンが解除となった5月以降ハイペースでの生産再開と供給、電動アシスト自転車(以下「EPAC」という)の前年比台数ベースで3割強、金額ベースで5割強という販売増により2020年のフランス自転車業界全体の販売額は30億ユーロを超え前年比25%増となったとしている。

表1: 平均販売価格の推移 (単位:ユーロ)

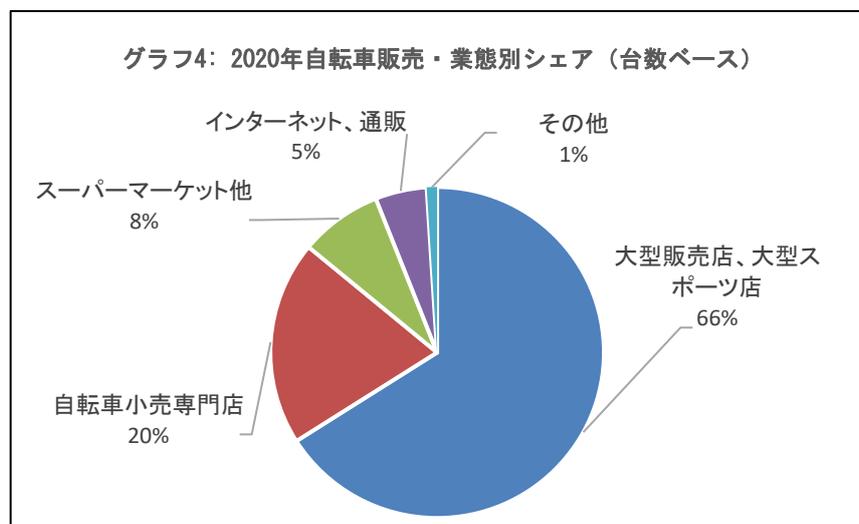
年	2016	2017	2018	2019	2020
平均販売価格	337	470	493	566	717

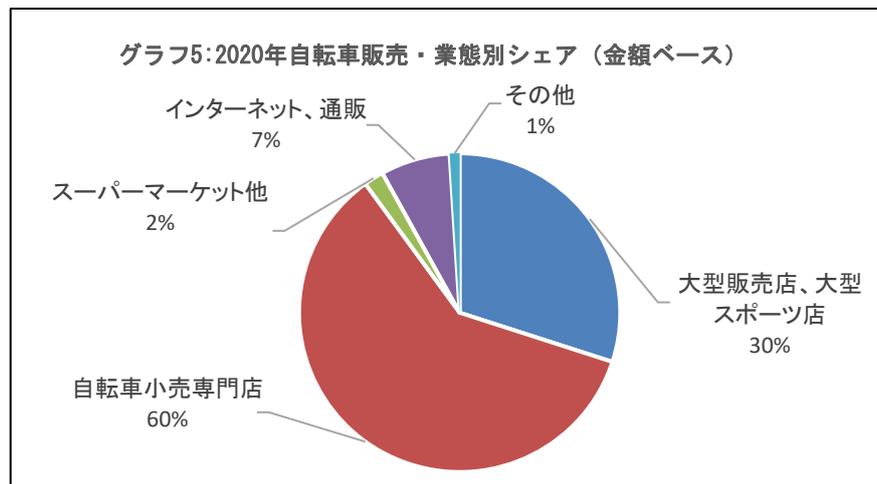
2020年自転車平均販売価格は、前年比26.7%増の717ユーロ(93,210円)に上昇し、700ユーロ(91,000円)の大台を突破した。Union Sport & Cycle は、EPACの販売増により平均価格も上昇しているとしている。なお、EPACの平均販売価格は前年比18.9%増の2,079ユーロ(270,270円)で、一般自転車の平均販売価格は前年比8.2%増の394ユーロ(51,220円)である。

2. 業態別販売動向

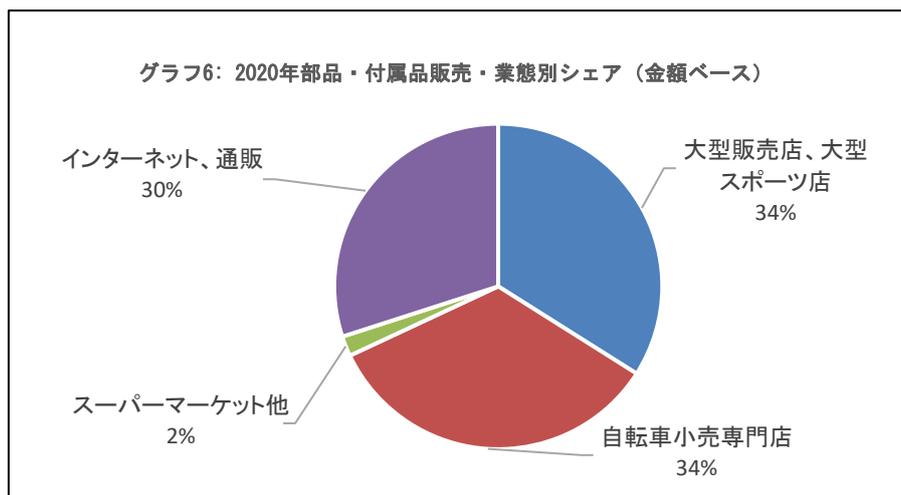
2020年自転車販売の業態別シェアは、台数ベースで見ると、大型スポーツ店等が前年より1ポイント減ながら66%と最大である。自転車小売専門店が前年より1ポイント増の20%であったが、スーパーマーケット等の量販は2ポイント減の8%となった。

金額ベースで見ると、自転車小売専門店が前年より5ポイント増の60%と6割を占め、大型スポーツ店等は前年より3ポイント減の30%であった。スーパーマーケット等の量販は1ポイント減の2%、インターネット通販等も2ポイント減の7%となった。





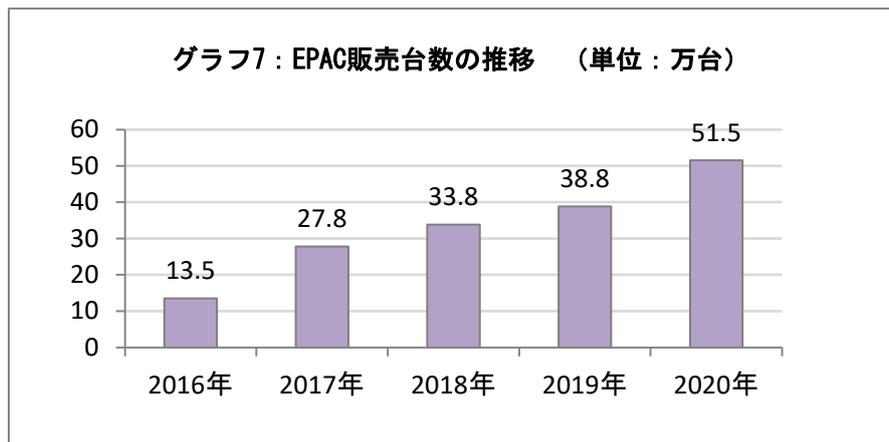
部品・付属品販売の業態別シェアは、金額ベースで見ると、自転車小売専門店は前年より1ポイント増の34%となったが、大型スポーツ店等は前年より5ポイント減で同じく34%となった。インターネット通販等は前年より4ポイント増で30%を占めており、スーパーマーケット等の量販は前年同様僅か2%に留まっている。



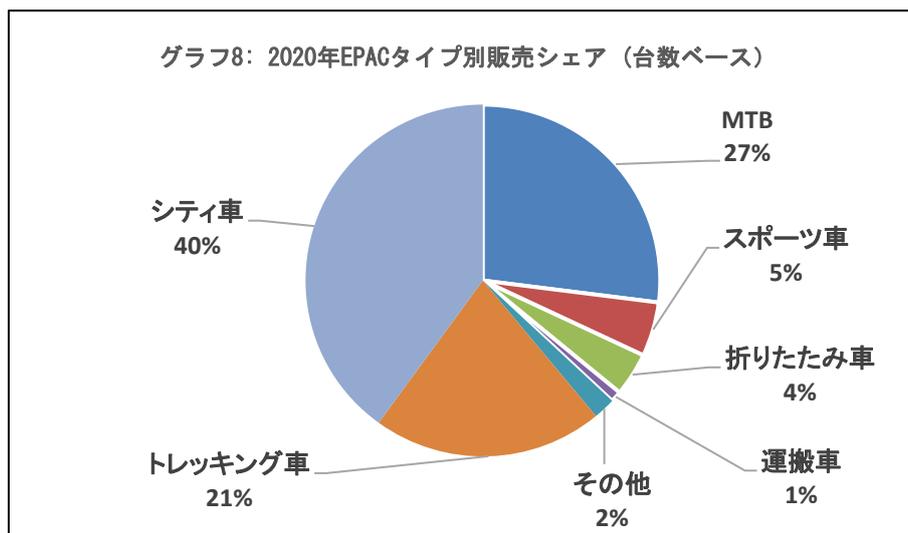
3. EPAC 販売動向

2020年EPACの販売台数は前年比32.7%増の51.5万台となり、3割強の伸び率をみせた。EPACの販売金額は前年比57.6%増の1,070百万ユーロ(1,399億円)となり、自転車販売金額全体の55.6%を占めている。また、車種別販売比率は、台数ベースで見ると、EPACのシェアは前年より4.6ポイント増の19.2%である。

EPACの業態別販売比率は、台数ベースで見ると、自転車小売専門店が前年より1ポイント増の57%と最大である。大型スポーツ店等は前年より2ポイント減の30%、スーパーマーケット等の量販は前年より3ポイント減の6%となった。一方、金額ベースで見ると、自転車小売専門店が前年より2ポイント増の76%とシェアの大半を占め、大型スポーツ店等は前年より3ポイント減の17%、スーパーマーケット等の量販は前年より1ポイント減の僅か2%である。



EPAC のタイプ別販売シェアは、台数ベースで見ると、電動マウンテンバイク (E-MTB) は前年より 5 ポイント増の 27% であり、E-ロードバイク等のスポーツ車タイプは 3 ポイント増の 5% となった。移動手段としての街乗りが主体のトレッキング車タイプは 2 ポイント減の 21%、同じく街乗り用のシティ車タイプは 12 ポイント減の 40% に落ち込んだ。



Union Sport & Cycle は、2020 年の自転車生産輸出入について、生産 660,690 台（うち EPAC 261,000 台）、輸出は前年比 11% 減の 265,000 台（輸出先：ドイツ 18%、イタリア 17%、ベルギー 18%、スペイン 17%、UAE 6%）、輸入は前年比 4% 増の 2,201,000 台（ポルトガル 20%、ルーマニア 18%、イタリア 18%、台湾 9%、中国 7%）で、2021 年の生産台数は 40% 増を見込んでいる。

また、2020 年の EPAC 販売が金額ベースで当初予測の自転車全体の 50% を上回ったことから、今後 5 年でその割合はさらに高まり、EPAC は 2025 年に 125 万台（台数ベースで全体の 30%）、2030 年には 250 万台（同 50%）と予測しており、高価格の EPAC がフランス自転車市場をより強く成長させるであろうとの見通しを立てている。

以上

統計出所：Union Sport & Cycle